

# ホホウウ 風だより



## 【網走ブロック 青山会長 あいさつ】

北海道認知症高齢者グループホーム協議会網走ブロック設立から、早くも1年が過ぎようとしておりますが、設立時には道北ブロック様等のご支援をいただき無事に設立に運ぶことが出来たことに改めて御礼を申し上げます。

網走ブロック設立後は、北海道協議会理事者の辞職に伴う新たな視点への取り組み場面や、国の消防法改正におけるスプリンクラーの設置義務など、網走ブロックの会員の皆さんとの意見の交換を含めて困難な場面でも結束に値する部分があった事は大変喜ばしいことと思えます。設立後2年目を迎えるにあたり、施設を守り抜くコンプライアンスの確認や宿泊や移動費のかからない研修、及び新人スタッフ向けの研修の在り方につきましても充実を図っていきたいと思えます。



また、今回の報酬単価も夜勤加算単価が上がったとはいえ、絵に描

いた餅のような実質マイナス改定の形となりましたが、今後は都道府県連絡協議会と北海道協議会の在り方を更に協議していただき会員の皆様が一目で理解できる委員会の設置案等を北海道から担当として出席いたします宮崎副会長へ依頼したところでございます。現場を知る代表が厚労相の予算委員会等へ出向き対等に物が言える状態になる事が急務であると同時に、若い世代が結婚できる収入を得ることを含む今後の介護保険の在り方等、今後も網走ブロックの意見をいただきながら理事会で協議させていただきたい

## 目次：

網走ブロック	
青山会長 あいさつ	1
道北ブロック	
小原会長 あいさつ	1
活動報告	
スタッフ研修	2
センター方式	2
トクイブ in さろま	3
永田久美子氏 特別研修 「認知症実践報告セミナー in 林-ツ」	3
道北ブロック交流	4
経営者研修会	4



と思えます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。(青山)

## 【道北ブロック 小原会長】

皆様の網走ブロックが丁度一周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。介護報酬の改定、スプリンクラー設置義務などGHにとって厳しい一年が始まりました。それ以外にも多くの課題を抱えながら揺れ動く環境の中、入居者さんを

## 祝おめでとうございます!!

しっかり支え、さらに私たち自身も揺らぐ事のない力を蓄えて行かなければなりません。この一年間、青山会長を中心に皆様が一つになり多くの活動をされて来られた事に目を見張るものがあり、私達も大変注目を致し



ております。今後、さらに網走ブロックが益々の発展を遂げられます事を心からお祈り申し上げます。道北ブロックも負けずに頑張ります!! (小原)

## 【網走ブロック 活動報告】

### スタッフ研修

講師：江上 秀行 氏  
実施：平成 20 年 5 月 15 日  
場所：北見市民会館 1 号室  
参加人数：61 名

網走ブロックが設立して初めての研修会という事で、お手伝い・役員も緊張して臨んだのですが、なかなか段取り良く行かず受講された皆さんには大変ご迷惑をかけたと思います。

研修内容は「生活アセスメントからの気付きと支援」という事で、介護職員が入居者さんの日々の生活を注視し、その人のできる事・できない事を分析し、チームで情報を共有して、入居者さんが自分らしく暮らす為にはどのような支援が必要なのかや、その人に

とってはいけない事を勉強しました。が、受講者の中には改めて介護の大変さや、介護に対する考え方が変わった方も居たようです。

また、グループ討議を通して他のグループホームの職員とのつながりも出来、自分たちが今おこなっている介護はどうか心配していた職員も、他のグループホーム職員との話ができただ事でストレス解消にもなったようでした。

(ふれやか朋悠・池 功司)



改めて介護の大変さや、介護に対する考え方が変わった



### センター方式研修

講師：江上 秀行 氏  
実施：平成 20 年 7 月 17 日・18 日  
場所：北見芸術文化ホール  
参加人数：31 名

2 日間にわたって行われた計画作成者研修会。網走ブロック会長でもあるエーデルワイス施設長・青山氏と、旭川より こうえい会の江上氏を講師に招き、アセスメントとケアプランの基本的理解を深める為、センター方式のシートを使用して、具体的な活用方法を学びました。

市内外のグループホームより、31 名が出席し、現場でセンター方式シートを活用する為に、講師の話に熱心に耳を傾けたり、グループホームでの活発な意見交換が行われました。

(かがやきの里むつみ  
・ 畠山 智美)



現場でシートを活用する為に、講師の話に熱心に耳を傾けていました





## トークライブ in さろま

講師：和田行男 氏・宮崎直人 氏  
 実施：平成 20 年 9 月 22 日  
 場所：佐呂間町コミュニティセンター

和田：「小林さん、9月に行くで!! 嫁さんと子供を連れて行くわあ」  
 小林：「そうでっか〜、ほな待っとるで〜…」

前年に続き、いとも簡単に前触れもなく、電話が入りました。返事はしたものの・・・  
 本当に?何で?・・・



来てくれるからには、和田さんの思いを多くの支援者に理解をして欲しい。そんな思いで、企画を進め、前回同様にGH協網走ブロックの協力を頂き開催する事ができました。

幸いにも今回は、前日に宮崎直人さんが紋別で講演があった事で、当日は一緒に参加してくれる事となり、超豪華な「和田行男・宮崎直人トークライブ in さろま」としてスタート致しました。

オープニングでは多くのヒントを頂いているお礼と仲間としての祝福をさせて頂きました。参加者の皆さんにも、ご本人にも内緒の「祝賀&洗礼の儀」から始まった事で、戸惑われた方も多かった事でしょう。

1部のみでの企画でしたので、

婆さんたちから授かった事を還していこう。。。



自らが変わらなければ、何も変わらない

2部に参加した方には申し訳ありませんでした。

和田さんと宮崎さんが、壇上に並んでのトークでしたが、この雰囲気慣れてもらうまで少し時間が掛ってしまいました。

私たちの事を仲間として、同じ目線で婆さんたちから授かった事を還していこうと訴え続ける和田さん。自らが変わらなければ、何も変わらないと語りかける宮崎さん。お二人から何をどう得るかは私たちの心のあり様だと考えます。素敵な仲間と歩める網走ブロックに感謝です。…イエス ウィ キャン!!

(夢ふうせん・小林達生)

## 永田久美子 特別研修 「認知症実践報告セミナーin オホーツク」

講師：永田久美子 氏  
 場所：JA きたみらい

実施：平成 20 年 11 月 2 日  
 参加人数：73 名



方は「自分をわかってほしい」と全身でいろいろなサインを

講義の内容は、「認知症とは」という基本的なお話の他、「事例から学ぶこと」として、実際の事例をセンター方式に落とし、センター方式の使い方・視点を学びました。参加された方の声としては、「認知症のポイント、センター方式の利点、重要性が良く分かりました。お話も簡潔で分かりやす

く、とても理解しやすかった。是非、ホームに持ち帰って検討してみたい。」「とてもよい研修になりました。実際に抱えているケースを検討することにより、身近に感じる事が出来たし、同じグループホームに働く方とディスカッションすることが出来、明日からまた“がんばろう!”と励まされました。」との力強いコメントが寄せられました。また、認知症の方に対する「気づき」として、認知症の

発します。それを、「問題」と決めつけないで、それが本人の訴えている“サイン”であることに気づくことが大切。提供者側からでなく、本人にとってどのような介護が必要なのかを考えること、ひとつ一つを支えていくことが「認知症になってもその人らしく安心して暮らしていく」ために最も大切なことであることが理解されました。

(だんらん紋別・小松博文)

## 道北ブロック交流

実施：平成 20 年 10 月 20 日  
見学先：旭川市 GH我が家  
鷹栖町 多機能型GH鷹栖なごみの家  
網走ブロック参加者：9名



を背負って2施設の見学に行きました。他の施設を見学するのは新鮮な気持ちになり、様々な面で刺激になりました。

今後も、他ブロックとの交流を深めこれからの研修活動に活用できるよう、目指したいと考えています。

(陽だまり小清水館  
・南克彦)

役員会も回数を重ね、青山会長のもと一丸となって来たところで、網走ブロック設立にも大変お世話になった道北ブロックの皆さんと交流をと、旭川に役員10名で行きました。

一日目は、午後より旭川クリ

スタルホールにて「和田行男後援会」を拝聴し、その後役員会、そして道北ブロック役員・会員の皆さんとの交流会に参加し親睦を深めてきました。

二日目は、お土産の玉ねぎ

## 経営者懇談会

### 「介護報酬・スプリッター設置等」

実施：平成 21 年 2 月 11 日  
場所：北見市民会館 1 号室  
参加事業所：31ヶ所



た今、国が発表した3%はほとんど期待できません。私達のGH協議会は地道でも国に対し更なる要望をしていかなければならないところです。

最後には少ない時間でしたが、出席者全員がテーブルを囲み、一人ずつご要望、ご意見を述べて頂きました。各種情報の正確で敏速な提供や研修会の継続、SOSネットワークの更なる構築と活用、報酬改定の処遇改善など聞かせて頂きました。

(なごみ・三木泉)

平成 22 年 4 月までのスプリッター設置について昨年末、国の補助金が出る事となり、我々も行政も大変慌てたところでした。そこでメカとして国の指定する能美防災様の他に初田製作所様がある事を紹介させて頂き、会場において説明してさせて頂きました。

設備事業者 1 社、防災事業者 2 社の出席も頂き、皆様の質問にお答え頂きました。

次に、平成 21 年度介護報酬改正について、知り得る範囲において私が説明させて頂きましたが、私も理解しようとするほど期待できない事ばかりでした。Q&Aが出

## 【編集後記】

昨年 3 月に北海道認知症高齢者グループホーム協議会網走ブロックが立ち上がり、4回の研修を行い、2回の交流を楽しく実のある活動が出来たことは、ひとえに会員の皆様のおかげでありました。11回の役員会を開きそして2回

目の総会を迎えることが出来たことを大変ありがたく思っております。そしてまた、この広報誌は毎日忙しい中、青山会長はじめ役員の皆様の御協力のおかげで発行することが出来ました。大変ありがとうございました。(時間を作るのになかなか大変な思いも

しましたが、貴重な経験をする事が出来ました。皆さんもこの経験を味わってみませんか？(ふれやか和・高橋佳三)



北海道認知症高齢者グループホーム協議会  
網走ブロック 事務局  
〒092-0063  
網走郡美幌町字元町 28-42  
グループホームふれやか朋悠  
Tel:0152-72 - 0606 Fax:0152-72 - 0601

北海道認知症高齢者グループホーム協議会  
ホームページもご覧下さい。

<http://hokkaido-gh.org/>